

2023年3月期第2四半期の業績説明及び 2023年3月期通期の業績予想



2022年10月24日



石塚硝子株式会社

ISHIZUKA GLASS Co., Ltd.

1. 2023年3月期第2四半期の業績説明

- 連結業績ハイライト
- セグメント業績、セグメント別売上高、セグメント別営業利益
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フロー

2. 2023年3月期通期の業績予想

- 通期業績予想
- 連結業績推移

連結業績ハイライト

- ✓ ウクライナ情勢をめぐる地政学的リスクの高まりに加えて、欧米諸国と日本の金融政策の違いなどから為替が円安に進行したことにより、エネルギー価格をはじめとする諸資材価格が高騰。これに対し一部値上げとグループを挙げてのコスト削減に取り組むものの、LNGは約8割、電力は約5割値上がり（前年同四半期対比）したこともあり、減益となる。
- ✓ 姫路工場の生産停止に伴う損失として工場閉鎖関連損失を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は大幅な減益となりました。

(単位：百万円)

項目	2021/3月期 2Q累計実績	2022/3月期 2Q累計実績	2023/3月期 2Q累計実績	前年同期比		一昨年同期比	
				増減	増減率	増減	増減率
売上高 ※1	33,161	36,314	29,413	▲6,900	－%	▲3,748	－%
営業利益	264	2,024	1,563	▲460	▲22.8%	1,299	491.9%
経常利益	286	2,183	1,858	▲324	▲14.8%	1,572	548.1%
四半期純利益 ※2	▲93	1,927	126	▲1,800	▲93.4%	－	－%

※1 当期より「収益認識に関する会計基準」等を適用しております。これに伴い、売上高は適用前と比較して大きく減少しているため、増減率は記載しておりません。

※2 親会社株主に帰属する四半期純利益

セグメント業績

ガラスびん関連事業

売上高7,256百万円（前年同期比－％）

- ✓ 前年の度重なる緊急事態宣言下に比べて市況が一部回復し、清酒びんや飲食店向けの飲料水びんを中心に出荷が伸張



ハウスウェア関連事業

売上高6,694百万円（前年同期比－％）

- ✓ ガラス食器は、企業向け景品の受注と「アデリアレトロ」などの一般市場向けの販売が堅調に推移
- ✓ 陶磁器は、国内及び海外ともに需要が回復



セグメント業績

紙容器関連事業

売上高3,648百万円（前年同期比－％）

- ✓ 製品の主原料である海外産原紙の調達コスト高騰に対する販売価格是正の取り組みを推進



プラスチック容器関連事業

売上高7,910百万円（前年同期比－％）

- ✓ 3年ぶりに5月の大型連休で行動制限がなかったことや夏の猛暑の影響もあり主要ユーザーからの受注が増加



セグメント業績

産業器材関連事業

売上高1,186百万円（前年同期比－％）

- ✓ 調理器用トッププレートの受注が堅調に推移



その他事業

売上高2,716百万円（前年同期比－％）

- ✓ 抗菌剤は、海外からの旺盛な需要が落ち着いたこともあり出荷が伸び悩む
- ✓ 金属キャップは、酒類及び医薬品向けともに前年並みの出荷

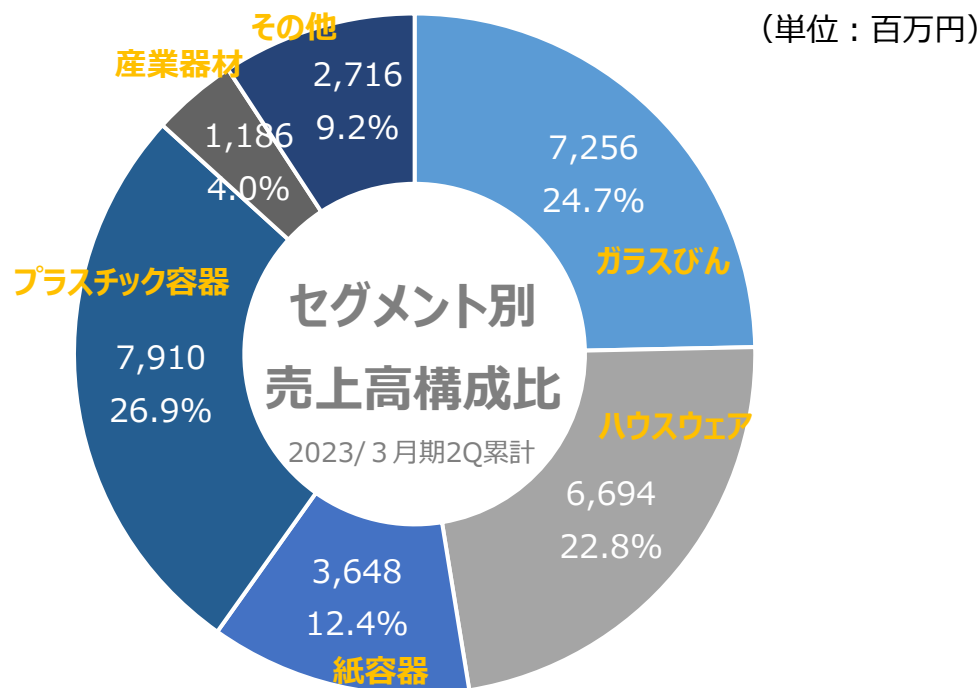
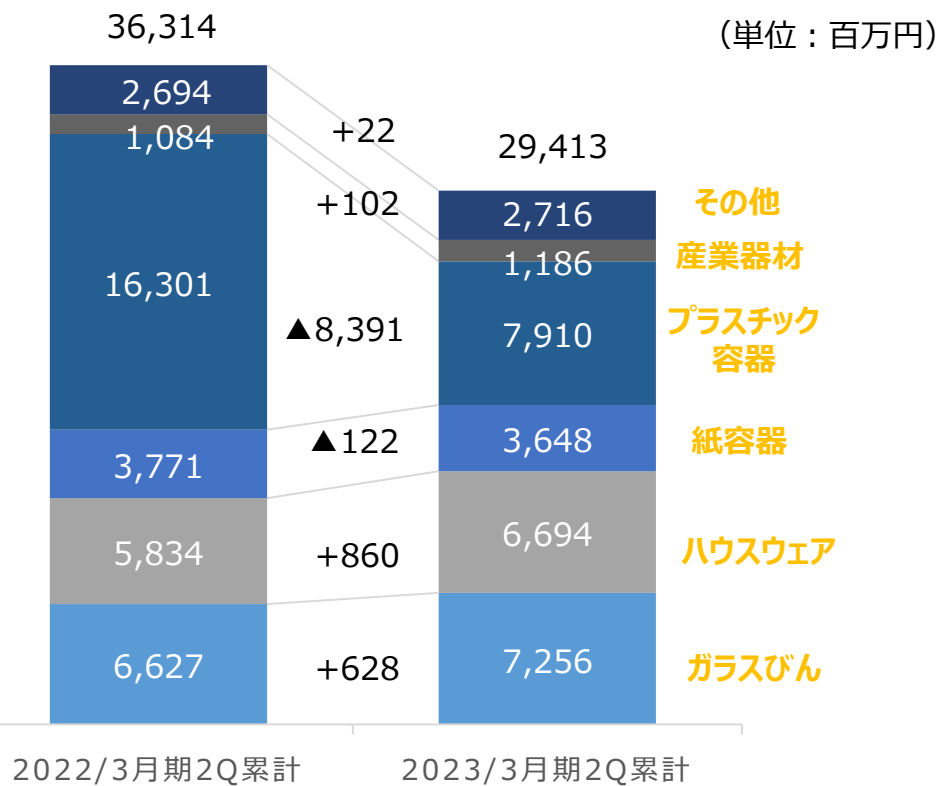


セグメント別売上高

売上高

- ガラスびん関連
- 紙容器関連
- 産業器材関連
- ハウスウェア関連
- プラスチック容器関連
- その他

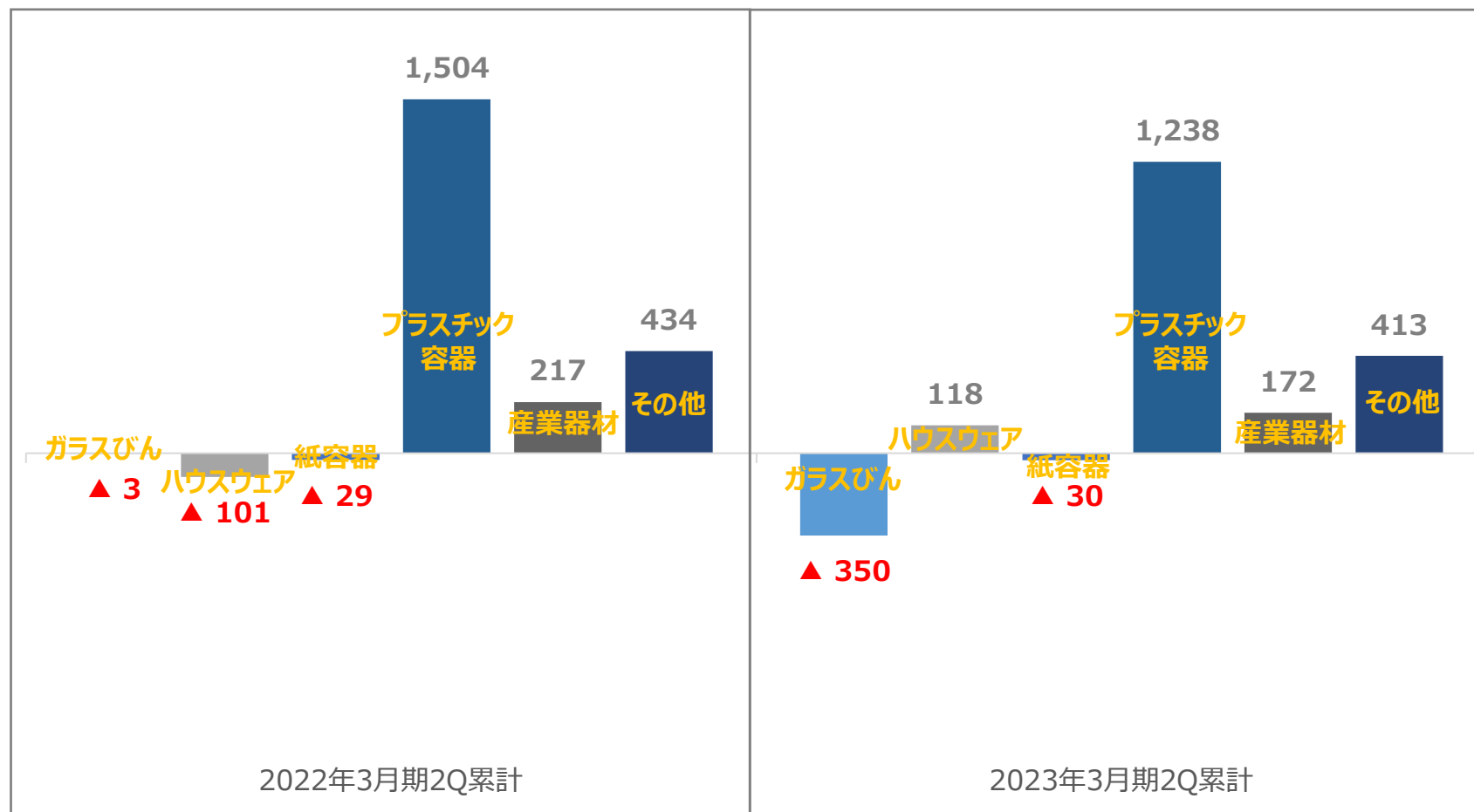
- ガラスびん関連
- 紙容器関連
- 産業器材関連
- ハウスウェア関連
- プラスチック容器関連
- その他



セグメント別営業利益

(単位：百万円)

■ ガラスびん関連 ■ ハウスウェア関連 ■ 紙容器関連 ■ プラスチック容器関連 ■ 産業器材関連 ■ その他



連結貸借対照表

連結貸借対照表の主な変動要因

(単位：百万円)

流動資産 43,270 (前期末比+2,624) 受取手形及び売掛金 +3,154、有償受給に係る資産 +2,470、商品及び製品▲2,818	流動負債 26,118 (前期末比▲442) 短期借入金▲4,196、支払手形及び買掛金+2,435、その他+1,674
固定資産 42,037 (前期末比+791) 有形固定資産+1,110	固定負債 30,725 (前期末比+4,052) 長期借入金+5,334
その他181 (前期末比▲23)	純資産28,646 (前期末比▲217) 利益剰余金▲70、その他▲147
総資産合計 85,490 (前期末比+3,392)	負債及び純資産合計 85,490 (前期末比+3,392)

自己資本比率29.3% (前期末比▲1.5%)

～トピックス～

- ✓ 受取手形及び売掛金並びに支払手形及び買掛金等の運転資本が増加
- ✓ 自己資本比率は1.5ポイント減少の29.3%

連結キャッシュ・フロー

項目	2022/3月期 2Q累計	2023/3月期 2Q累計	増減
営業活動によるCF	4,130	2,428	▲1,702
税金等調整前四半期純利益	2,931	800	▲2,130
減価償却費	1,796	1,603	▲192
運転資本の増減額（△は増加）※	73	▲18	▲92
その他	▲669	42	712
投資活動によるCF	437	▲2,500	▲2,938
有形固定資産の取得による支出	▲1,261	▲2,518	▲1,257
その他	1,698	17	▲1,681
財務活動によるCF	▲4,319	▲283	4,035
短期借入の増減額（△は減少）	▲2,640	▲4,600	▲1,960
長期借入・社債の発行による収入	50	6,150	6,100
長期借入の返済・社債の償還による支出	▲1,121	▲841	280
セール・アンド・リースバック取引による収入	243	—	▲243
リース債務の返済による支出	▲823	▲781	42
その他	▲27	▲211	▲183
現金及び現金同等物	3,867	5,053	1,185

(単位：百万円)

※ 売上債権の増減額、棚卸資産の増減額及び仕入債務の増減額の合計

～トピックス～

✓ 営業活動によるCFで獲得した資金で投資活動によるCFをまかなう

1. 2022年3月期第2四半期の業績説明

- 連結業績ハイライト
- セグメント業績、セグメント別売上高、セグメント別営業利益
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フロー

2. 2023年3月期通期の業績予想

- 通期業績予想
- 連結業績推移

通期業績予想

- ✓ 売上高は概ね計画通りに進捗しており、当初予想数値を据え置きます。
- ✓ 不安定な経済環境下に加えて急激な円安の進行により、下期はより一層のエネルギー価格高騰が予想されますが、値上げを含むグループを挙げての積極的な取り組みを進め、営業利益は当初予想の1,000百万円の達成をめざします。
- ✓ 親会社株主に帰属する当期純利益については姫路工場の生産停止に伴う損失の計上により、最終赤字となる見通しです。
- ✓ 当社は、収益状況に対応した配当を行うことを基本としておりますが、何よりも先ず安定的な配当の継続を重要な方針といたしております。配当予想につきましては、業績状況等を総合的に勘案して、1株当たり40円から30円に修正させていただきます。

項目	2023/3月期 当初業績予想	2023/3月期 修正業績予想	増減	増減率	2022/3月期 実績 (ご参考)
売上高	56,000	56,000	0	-%	69,384
営業利益	1,000	1,000	0	-%	2,612
経常利益	800	1,100	300	37.5%	2,791
当期純利益 ※	200	▲1,000	▲1,200	-%	2,254
配当金	40円	30円	▲10円	-%	45円

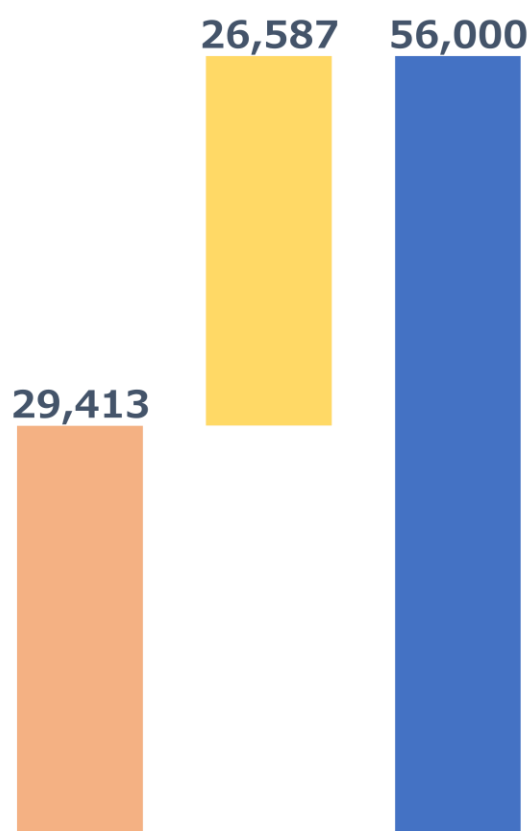
(単位：百万円)

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

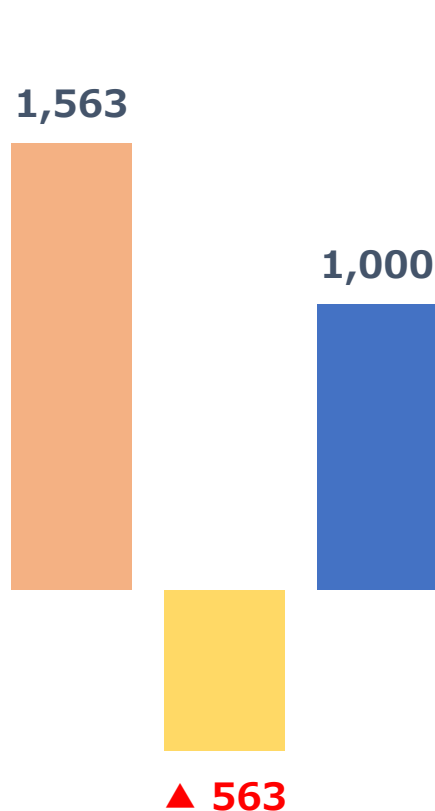
通期業績予想の進捗

(単位：百万円)

売上高



営業利益



親会社株主に帰属する純利益



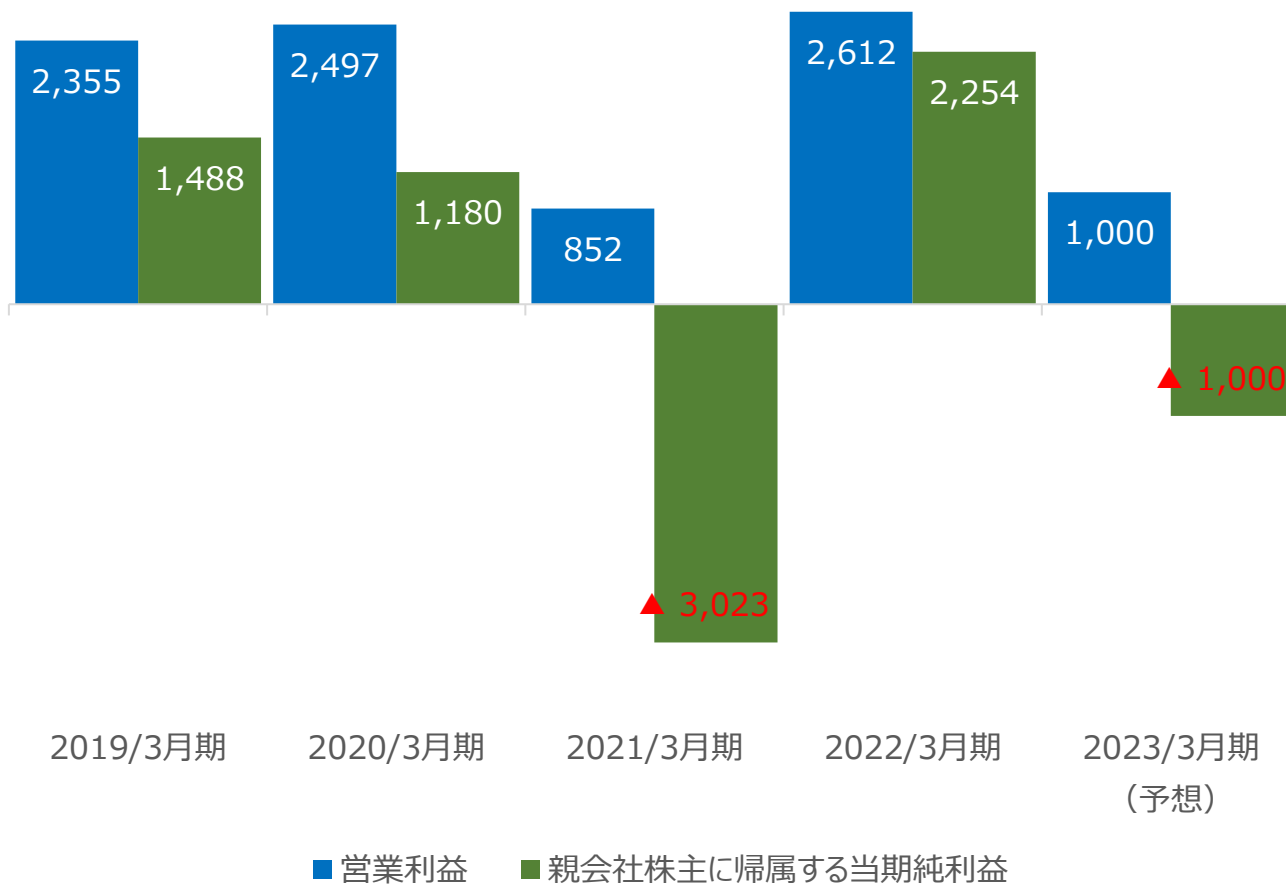
■ 2023/3月期 上期 ■ 2023/3月期 下期 (予想) ■ 2023/3月期 通期 (予想)

■ 2023/3月期 上期 ■ 2023/3月期 下期 (予想) ■ 2023/3月期 通期 (予想)

■ 2023/3月期 上期 ■ 2023/3月期 下期 (予想) ■ 2023/3月期 通期 (予想)

通期営業利益及び 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



本資料についての留意事項

- 本資料は金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている将来の予測等は現時点で入手された情報に基づくものであり、市況、競業状況等、多くの不確実な要因による影響を受けます。
- 本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。
- 本資料利用の結果生じた、いかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。